

## 1. 改訂の背景と目的

本市は、「みどりの基本計画」策定以前から、「緑のマスタープラン」や様々なみどりに関する施策の推進により、みどりの保全・創出に取り組んできました。

今回の改訂は、計画の「将来像」と「基本方針」を継承するとともに、気候変動対策、生物多様性の確保、ウェルビーイング※の向上などの新たな社会潮流に対応した内容とし、新たな概念や新技術などを取り入れた施策などを合わせ、かけがえのない「箕面らしいみどり」を次世代へ引き継ぐものです。

※ウェルビーイングとは、個人の権利や自己実現が保障され、身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念です。



箕面の滝

## 2. 計画の期間・計画の対象

●計画期間： 令和17年度(2035年度)までの10年間

●計画対象： 市域全域

●対象とする“みどり”

山地の森林、まちなかの樹林・樹木・緑地、公園、農地及びこれらと一体となった水辺や緑と一緒にあるオープンスペースを含みます。



田園風景(萱野)

## 3. 市民アンケート結果

本計画の改訂にあたり、市民のみどりへの満足度や関心、課題などを整理するため、市民アンケートを実施しました。

### ●調査概要

箕面市みどりの基本計画改訂にかかる市民アンケート

調査期間：令和7年9月1日（月）～9月22日（月）

形式：WEBアンケート

回答数：総計 683件

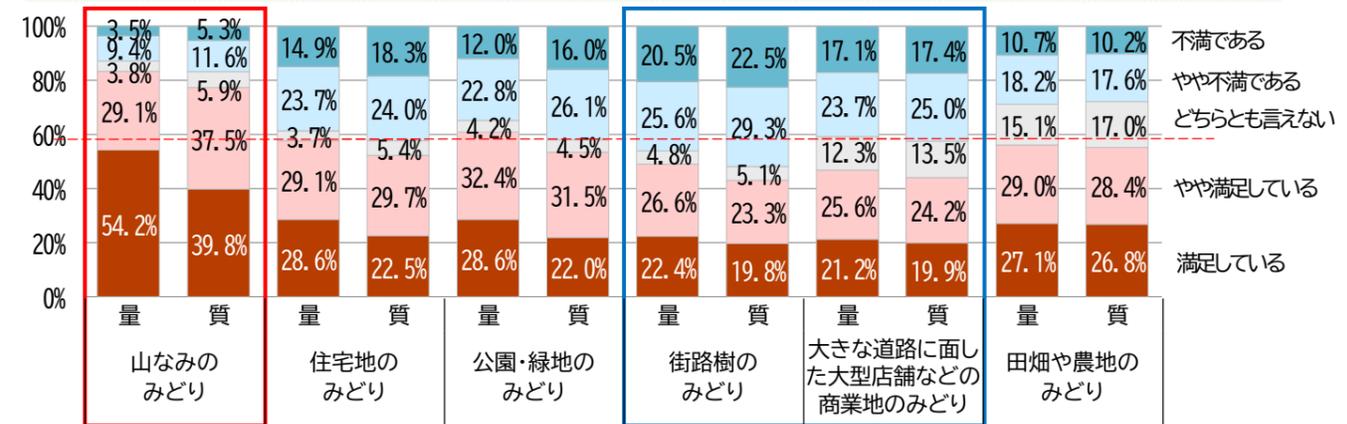
HP・広報紙・郵送はがき	596件
第38回eモニター	75件
第7回eリサーチ	12件



### ●市内のみどりの満足度について

※満足度：「満足している」「やや満足している」を選んだ比率

- どのみどりも「量」「質」ともに満足度はほぼ半数に達していました。「量」に対する満足度の方が「質」よりもやや高くなっていました。
- 「山なみのみどり」は、「量」「質」ともに7～8割以上の満足度で、評価が高いことがわかりました。
- 一方で、街路樹や商業地のみどりが他のみどりに比べて満足度が低くなっていました。



### ●公園の利用について

- 市内公園への来訪頻度は、「回数程度」以上公園に行くに答えた人が回答者全体の約6割でした。
- 年齢別に来訪頻度を分類すると、30～40代及び70代以上の頻度が高く、特に70代は「毎日行く」の比率が他の年齢層より高くなっていました。

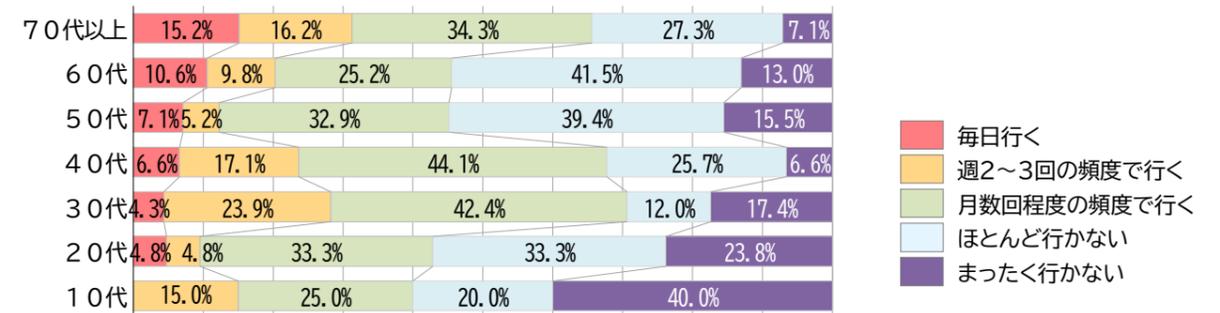


図. 年齢別公園利用頻度

### ●アンケート結果から見た課題

#### ① 本市のブランドイメージとなる「山なみのみどり」の維持・保全

- ☑「山なみのみどり」の満足度は、平成21年度：79.4%、令和7年度：83.3%と高い満足度が維持されています。
- ☑市民にとって「山なみのみどり」は、箕面市のブランドイメージに定着した“みどり”として変わらず認識されています。
- ☑この「山なみのみどり」を維持・継承していくことが重要です。

#### ② 市街地の公共空間のみどりに対する維持管理の要望

- ☑市街地の公共空間のみどり（主に公園・緑地、街路樹など）に対し、適切な維持管理の要望が非常に多くありました。
- ☑緑化負担税を公園・緑地の維持管理に活用するよう望む回答が多く、公共空間のみどりの「質」への関心の高さが見えました。
- ☑今あるみどりの質を高めるために、市民と行政が一体となって取り組むことが重要です。

## 4. 現況特性と課題

### ●現況

本市の緑地は、国有林を含めた森林が市域の約5割に達し、非常に豊富な森林に恵まれています。

また、一人あたりの公園面積は、都市公園のほか市民の森を含めると33㎡となっており、全国的にも高い水準になっています。

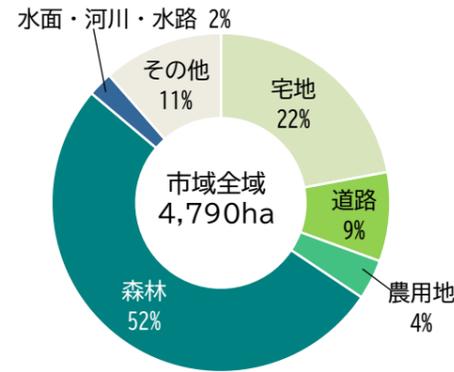


図. 土地利用の比率

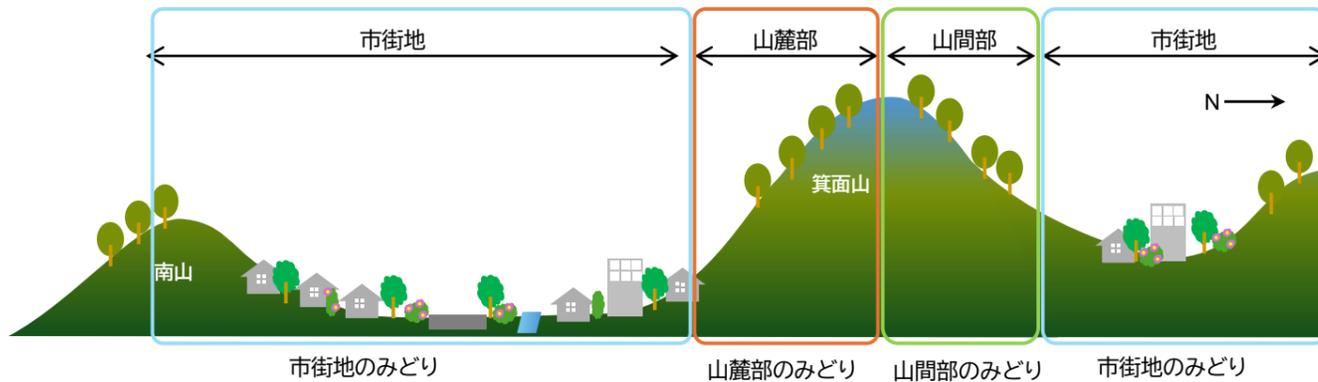


図. みどりの構造特性

表. 公園などの緑地の現況(令和7年時点)

整備済み都市公園など		箇所数	面積(ha)
都市公園	近隣公園	13	21.53
	街区公園	57	13.75
都市公園 計		70	35.28
その他の公園	開発公園	121	14.55
	児童遊園	15	1.18
	広場	2	0.20
	緑地	326	152.44
その他の公園 計		464	168.37
市民の森など		箇所数	面積(ha)
市民の森	教学の森	1	46.78
	こもれびの森	1	54.90
	野鳥の森	1	2.78
	国際交流の森	1	40.58
	体験学習の森	1	25.27
学校の杜(外院の森)	1	4.49	
市民の森など 計		6	174.80
国定公園など			
明治の森箕面国定公園		962.60	
府営箕面公園		83.80	
エキスポ'90箕面記念の森		30.00	
勝尾寺園地		9.55	

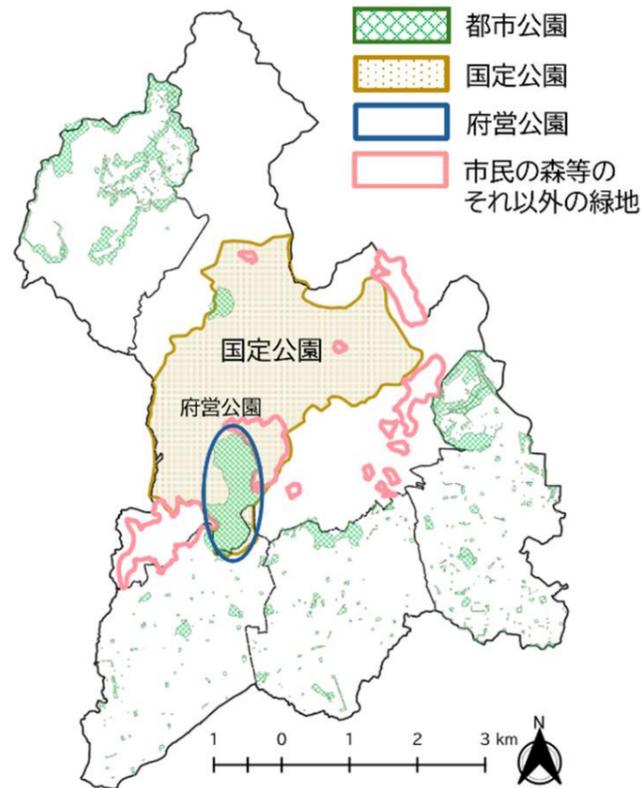


図. 公園などの位置

### ●本市のみどりの課題

多くの山林は人の手が入らず自然のままの状態になっており、山林の維持管理が課題です。豊かな森林を保つために、景観計画などでは、「山すそ景観保全地区」「山なみ景観保全地区」などが指定されています。また、農地の減少も見られています。

現況から見た本市のみどりの課題

#### (1) 本市全体の森林・緑地

- ・都市公園施設などが充足する反面、農地・森林・緑地面積が減少

#### (2) 山間部及び山麓部のみどり

- ・山林の健全な維持に向けた対策
- ・ごみの不法投棄対策
- ・山麓部の防災対策の推進
- ・希少種・生物多様性の保護

#### (3) 市街地のみどり

- ・街路樹などの公共空間のみどりの維持管理の方向性の位置づけとみどりの質の向上
- ・既存公園の維持管理体制・運営計画
- ・大規模公園の整備
- ・社寺林や植木畑、残存している緑地など良好な樹林の保全、維持管理
- ・農地・ため池の減少



写真. 災害による倒木



引用: NPO法人みのお山麓保全委員会



萱野の田園風景

### ●課題のまとめ

上記の市の現況及びアンケート結果から、みどりの課題を以下の4つに整理しました。

箕面らしい「みどり」を  
保全・創出すること

市街地の重要な「みどり」を  
量と質ともに大切にすること

「みどり」の持つ機能を有効利用した  
都市環境づくりを進めること

市民が主体となって取り組み、  
「みどり」のまちづくりを進めること

## 5. 計画の将来像・基本方針

### みどりの将来像

## 山なみに抱かれ、みどり豊かなまち・みのお

### 本市のみどりの課題

箕面らしい「みどり」を  
保全・創出すること

市街地の重要な「みどり」  
を量と質ともに大切にす  
ること

「みどり」の持つ機能を  
有効利用した都市環境  
づくりを進めること

市民が主体となって取り  
組み、「みどり」の  
まちづくりを進めること

### 将来像を実現するための基本方針

#### 基本方針1

みどりを通じてまちの魅力をアップし、  
“箕面らしさ”を確立する

箕面らしい景観・都市環境の保  
全・充実や、みどりを通じた魅力  
アップを目指します



#### 基本方針2

みどりを通じて環境の質の向上を図る

ウェルビーイングの向上、健康・  
福祉の充実、住みやすさの向上、生  
物多様性の充実や環境共生社会の実  
現を目指します



#### 基本方針3

みどりを通じて安全・安心のまちをつくる

山間部・山麓部・市街地それぞ  
れの地形・地域的な視点を持ち、防  
災・減災や「グリーンインフラ」を  
活かした安全・安心なまちづくりを  
目指します



#### 基本方針4

みどりを通じて多様なコミュニティの醸成を図る

みどりを通じた美化意識の醸成・  
箕面らしさの確立のためのコミュニ  
ケーションツールとしてみどりを活  
かすことを目指します



### 基本方針に基づく取組・施策

#### 景観保全、緑地の質向上、環境保全、ブランディングなどにかかる取組・施策

##### (1) 山なみの保全

- ①山間部のみどりの保全と規制
- ②山麓部のみどりの保全と規制
- ③山なみ景観の保全
- ④計画的な森林整備と無秩序な開発抑制

##### (2) 農地やため池の保全

- ①農地の保全
- ②ため池の保全
- ③営農活動への支援
- ④里山文化の保全

##### (3) 箕面らしいみどりの保全

- ①保護樹木・保護樹林の指定、所有者の維持保全活動への支援
- ②箕面らしいみどりの観光資源活用及び適切な維持管理と保全
- ③山麓部のブランド化

#### 主な施策や取組など

- ・保全制度の維持  
(山なみ景観保全地区指定制度等)
- ・みのお山麓保全活動助成制度  
(山麓保全アクションプログラム)
- ・農業公社による遊休農地の活用  
や、担い手確保などの取組

#### 山間部～市街地までのみどりの質の向上、また生物多様性の向上に資する取組・施策

##### (1) 山なみのみどりの質の向上

- ①山林の魅力アップと環境教育・レクリエーションの場としての利用推進
- ②自然歩道等のレクリエーション資源の利用推進
- ③啓発活動の推進

##### (2) 市街地のみどりの質の向上

- ①街路樹の適正な維持管理の推進
- ②公園・緑地の適正な維持管理の推進
- ③民地の緑化の推進
- ④建物（屋上・壁面等）や駐車場の緑化推進
- ⑤河川とのふれあいの機会・学習機会の創出

##### (3) 生物多様性に資するみどりの質の向上

- ①エココリドー（生態回廊）としての保全の推進
- ②生物多様性の向上
- ③希少野生生物の生息状況の把握と情報蓄積

#### 主な施策や取組など

- ・森林環境整備  
(間伐、ハイキング道整備など)
- ・市民自主管理活動支援制度
- ・「街路樹マネジメント計画」  
に基づく街路樹の管理

#### 防災・減災を目的とした都市環境整備・気候変動対策にかかる取組・施策

##### (1) 計画的な公園の整備と活用

- ①特色ある公園づくり
- ②誰もが安心して使える公園づくり
- ③公園の再生（リニューアル）
- ④環境に配慮した技術の活用

##### (2) グリーンインフラとしての保全の推進

- ①山麓部山林の維持管理の協力体制の推進
- ②災害に備えたみどりの適正配置の推進
- ③エリア一体的なみどりの環境づくり
- ④森林バイオマス資源の利用の研究検討
- ⑤土地利用転換を好機とした機動的なみどりの創出

#### 主な施策や取組など

- ・関連計画に基づく公園の  
リニューアル
- ・公園など公共施設のグリーン  
インフラとしての活用

#### 市民参加・官民連携・自主管理活動などにおけるコミュニティ活動の支援などに資する取組・施策

##### (1) みどりのコミュニティの醸成

- ①国定公園・府営公園における市民の主体的な活動の支援
- ②公園・緑地における市民の主体的な活動の推進
- ③市民参加型の森づくりと連携
- ④地域内プラットフォームの場づくり

##### (2) みどりのコミュニティの継続の支援

- ①みどり推進基金の活用
- ②みどり行政の連携
- ③情報発信の強化
- ④森林バイオマス資源の利用の研究検討
- ⑤土地利用転換を好機とした機動的なみどりの創出

#### 主な施策や取組など

- ・市民活動の推進  
(市民参加型の森づくり活動の推進、  
市民向け情報発信の強化)

## 6. 緑化重点地区

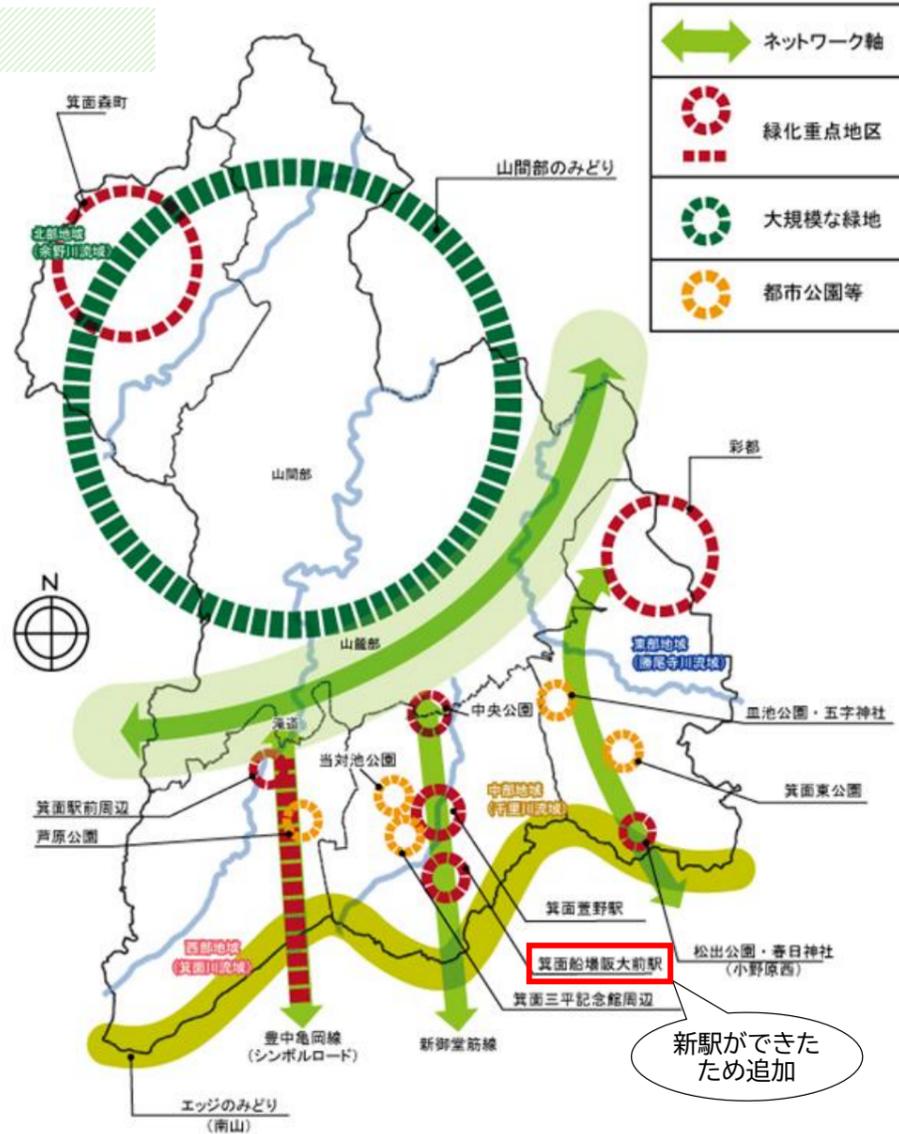
みどりの将来像を実現していくにあたり、優先度が高かつ取り組むことにより他への波及効果が見込まれる施策を重点事業として推進します。そのため、本計画において「緑化重点地区」を設定します。



写真. 山なみ



写真. 芦原公園



## 7. 推進体制

今後も、市民が主体的にみどりのまちづくりを担うことができるよう支援を継続するとともに、行政・市民・事業者が役割分担し、連携・協働しながら、将来像の実現に向けてまちづくりを進めていきます。

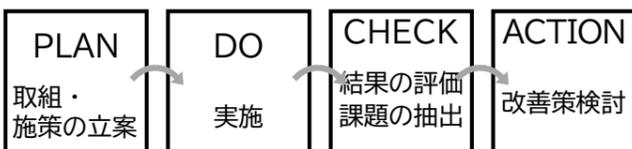


図. PDCAサイクル

### 計画の推進体制と役割分担

- 行政の役割**
  - ・みどりのまちづくりの主導
  - ・公共のみどり（街路樹・公園）の維持管理
  - ・市民・事業者・各種団体の取組の支援
  - ・箕面らしいみどりの保全と創出のための制度や法的枠組みの設計
- 事業者の役割**
  - ・地域市民の取組の支援や協力・連携
  - ・みどりのまちづくりへの参加
  - ・事業活動に起因する環境負荷の低減
  - ・事業所周辺の緑化
  - ・オープンスペースの提供
- 市民の役割**
  - ・自然環境、農地などの保全
  - ・身近な公園の利用
  - ・敷地内の緑化
  - ・みどりを通じたまちづくりへの参画
  - ・みどりに関する関心、学習

## 8. 数値目標

本計画では、4つの目標水準を定め、「みどりの量」と「みどりの質」について確保目標水準をもとに各取組の進捗状況を確認します。

また、市内のみどりの豊かさを市民が実感しやすい指標で示し、またみどりの現況や変化をわかりやすく伝えるとともに、多くの市民がみどりを増やす取組に参加する意識の向上を図るための指標として、緑視率※を新たに設定します。

中間年次である令和12年度(2030年度)に、計画の目標水準の把握・評価を行い、計画の進捗管理を行います。その数値の達成度に応じて、目標年次に向けて施策等の見直しを行います。

計画の確保目標水準：緑視率



参考：箕面船場阪大前駅 緑視率 6.85%

※緑視率とは、人の視野に占める樹木などの「みどりの面積」の比率です。

### ●計画の確保目標水準

計画の確保目標水準/年次		令和7年度 (2025年度) 策定時	令和12年度 (2030年度) 中間年次	令和17年度 (2035年度) 目標年次	目標水準の 方向性
みどりの量	みどりの確保目標水準 緑地（施設緑地・地域制緑地）及び緑化空間（公共・民間）を合わせたみどりの確保量	2,665ha (55%)	2,665ha (55%)	2,665ha (55%)	現状維持に努め、みどりの量を確保する
	都市公園などの確保目標水準 都市公園として整備すべき緑地の確保量	329ha (16%)	329ha (16%)	329ha (16%)	
	確保量	462.3ha	464.1ha	467.1ha	
みどりの質	緑視率 市街地の緑化空間の質的な確保量	基準値	5年ごとに調査し、結果を公表		基準値をもとに、みどりの質の向上に取り組む
	みどりの満足度 市民の緑地・緑化空間への満足度	市民アンケート※4 「みどりへの満足度」の満足度比率	基準値		

※1 計画対象地域…市域全域4,790ha、市街化区域面積2,006ha（R6時点）

※2 本市人口…R7：139,939人（市勢年鑑）/R12：143,330人/R17：141,178人（出典：箕面市人口ビジョン（H27））

※3 調査地点として選定した12地点は、鉄道駅やバスターミナル、公共施設周辺、商業地前など、多くの市民が集まる場所を中心として、市内全体にバランスよく選定しています。今後調査地点の見直し等を含め、評価していく予定です。

※4 「市民アンケート」は、箕面市により2年に1度実施される「箕面市市民満足度アンケート」を指します。